



環境配慮の取り組みについて



2020年6月23日

ライオン株式会社

生産技術研究本部

執行役員 本部長 岡野 知道

サステナブルな地球環境への取り組み推進

ライオングループは、地球規模で広がる環境問題に対して、パリ協定や持続可能な開発目標（SDGs）の世界目標の達成に事業を通じて貢献すべく、2019年に長期環境目標「LION Eco Challenge 2050」を策定しました。「脱炭素社会」と「資源循環型社会」の実現を目指し、脱炭素、プラスチック、水資源の課題解決に向けた取り組みを具体化していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2030年に向けて

次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ

「健康、快適、清潔・衛生を通じた新たな顧客体験価値の創造」により、毎日の習慣を、もっとさりげなく、楽しく、前向きなものへ“リ・デザイン”することで、一人ひとりの「心と身体のヘルスケア」を実現する。



LION Eco Challenge 2050と容器・包装

脱炭素社会の
実現に向けて

チャレンジ1 2050年までに事業所活動におけるCO₂排出量ゼロを目指します。
2030年目標: 30%削減(対2017年、絶対量)

チャレンジ2 2050年までにライフサイクルにおけるCO₂排出量半減を目指します。
2030年目標: 30%削減(対2017年、絶対量)

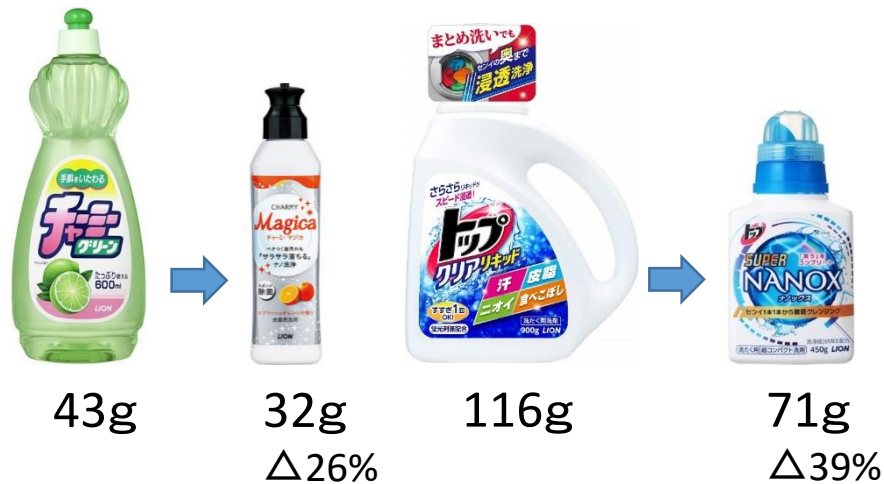
資源循環型社会の
実現に向けて

チャレンジ3 2050年までにプラスチックの高度な資源循環を目指します。
2030年目標: 3R(Reduce〈削減〉、Reuse〈再利用〉、Recycle〈再資源化〉)および
Renewable〈持続可能な資源の活用〉の推進
・再生プラスチックおよびバイオマスプラスチックの使用量 **倍増**(対2017年、絶対量)

チャレンジ4 2050年までに持続可能な水使用を目指します。
2030年目標: ライフサイクルにおける水使用量 30%削減(対2017年、売上高原単位)

Reduce	Reuse	Recycle	Renewable
使用量を減らす	容器を再利用する	容器の再資源化	再生可能な原料を使う

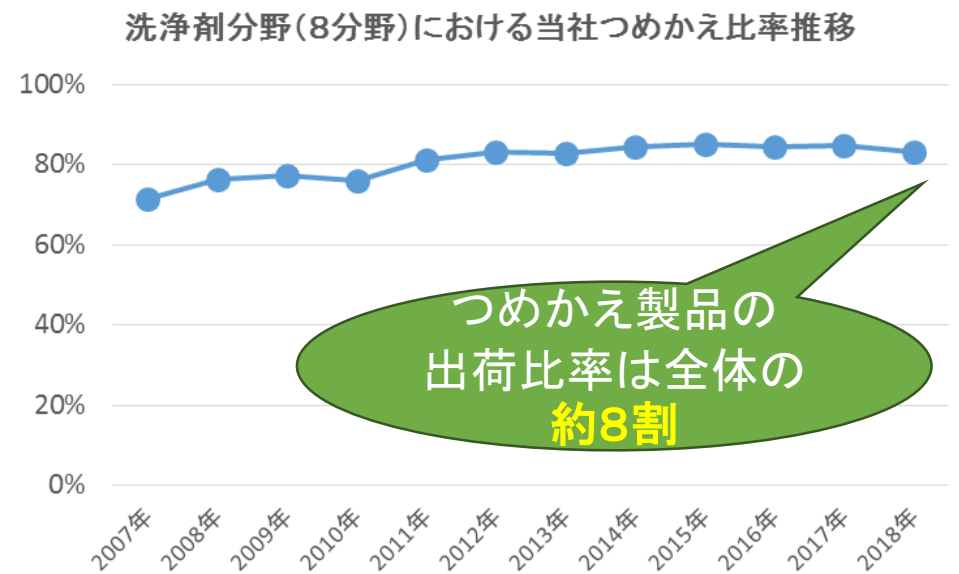
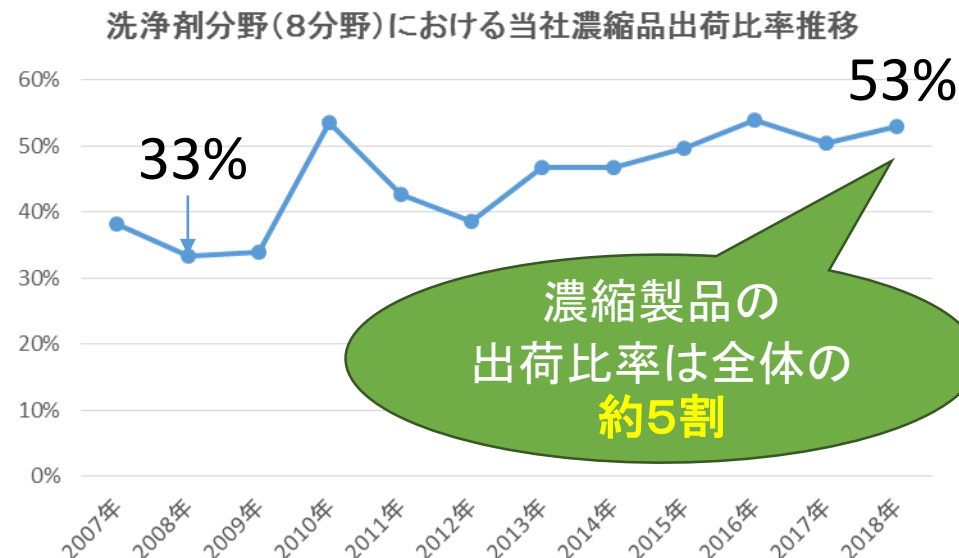
Reduce 使用量を減らす 一容器や包装を小さく・少なく一
 Reuse 容器を再利用する 一つめかえ用製品を増やす一



製品の濃縮化により、プラスチックの使用量を削減



つめかえることで、プラスチックの使用量を削減



Recycle 容器の再資源化

—再生材料を積極的に使う—

Renewable 再生可能な原料を使う—石油以外の原料の活用—

再商品化 [事業者]

- 再商品化工程
- 塩ビボトル除去
- 着色ボトル除去
- 手選別
- 粉碎
- 風力分離
- 洗浄
- 比重分離



再商品化製品



フレーク

※ボトルを約8mm角に切断したものを

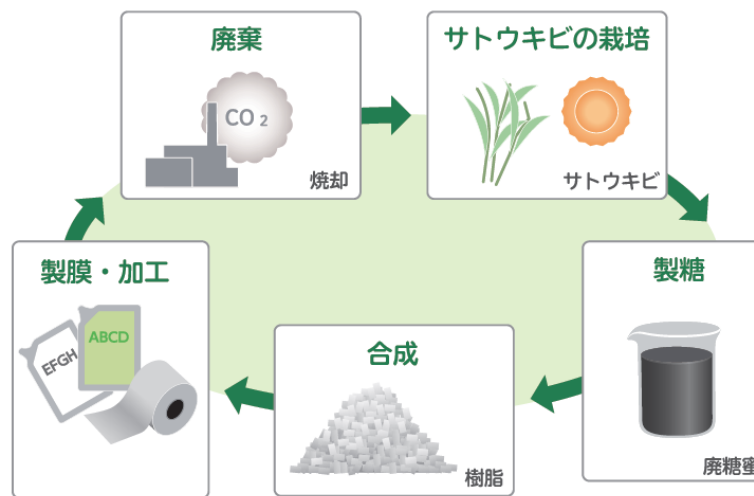


ペレット

※フレークを加熱融解して粒状にしたものを



台所用洗剤容器では再生PET樹脂を使用しています。



*使ってもまた育つ植物を使用!
*CO₂排出量の削減に貢献!



バイオマスプラスチックを、衣料用洗剤容器に活用。石油由来プラスチック使用量を減らしています。

最近の施策事例：ハブラシリサイクル

使用済み「ハブラシ」を回収し、社会へ還元するリサイクルプロセス構築をめざして



A. 全国を対象としたリサイクル活動

LION



スタート	2015～（継続中）
回収量	620,250本（延べ実績）
回収拠点	622拠点 テラサイクル社HP事前登録制
回収方法	拠点で集約後、宅配便でテラサイクル社へ送付
再生物	プランター等
当社の役割	事業継続に関わる費用負担

全国の生活者に広く参加頂き、プラスチックリサイクルへの認知・機運を高める →**CSR的活動**

数字は2020年1月時点

B. 自治体清掃事業への組入りリサイクル活動

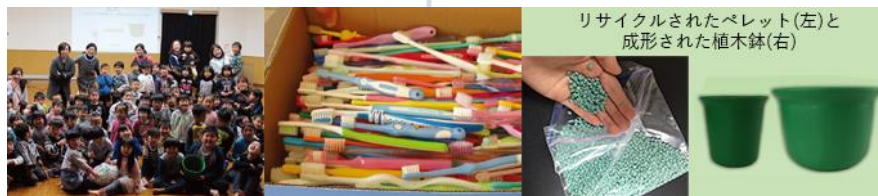
LION

墨田区



スタート	2020～（継続中）
回収量	40,000本/年(計画)
回収拠点	85拠点 区内学校・公共施設等
回収方法	拠点で集約後、すみだ清掃事務所が回収 →タカブラリサイクル（荒川区）
再生物	検討中（区の活動に資するものとして再生）
当社の役割	事業継続に関わる費用負担

自治体を巻き込んだ地産地消の、持続可能なプラスチックリサイクルシステムの構築 →**CSV的活動**



リサイクルされたベレット(左)と
成形された植木鉢(右)

CLOMAにおけるリデュース推進の考え方

2030年までに容器・包装で使用する化石資源由来のバージンプラスチックを**25%**排出抑制する



CLOMA アクションプラン実証テスト
洗口液容器リデュース

現行の品質を維持しながら減らす

- ・新しい素材開発
- ・新しい構造の開発

要求品質を見直すことで減らす

- ・新しい品質基準の設定
- ・流通の進化・変化への適応

用途・行動を見直すことで減らす

- ・新しい行動の提案

- ① 業界を挙げた基準作り、法規制緩和
- ② 新サービスや新産業の創出
- ③ 生活者への啓発活動

ご静聴ありがとうございました

